

2月議会にて代表質問を行いました

三浦 一敏 県議会議員

半島の避難トンネル大きく前進

女川原発避難道路や生活道路として、地域住民の強い要望である大谷川～小積浜の新設トンネルについて、村井知事が先頭に立って推進すべきと質問しました。村井知事は「県道として事業方法を国と協議している。優先順位を上げて道路整備できないか考えている」と前向きな答弁をしました。悲願となっている約2kmの道路、トンネルですが、大きく前進するとの感触です。



地元からの要望をぶつける

土地改良区の排水機場などの維持費の負担割合は、国・県・市町村がそれぞれ30%で、残りを農家が負担していました。しかし、年々県が支援を減らし、平成23年度採択事業から県負担は1%となりました。国が30%負担して、残りの



69%を市町村と農家が負担することになり、大変な負担となります。県負担1%を見直して、改善するよう求めました。

また、慶長遣欧使節復元船サン・ファン・パウティスタ号の周辺立ち入り規制は、風の無い日は規制を解除するなど柔軟な対応を求めました。

復元船の老朽化が激しいとして、年度末までにどうするのか方向性を出すとしています。様々な保存方法も含めて、石巻市と十分に協議をして、慎重に検討するように求めましたが、村井知事からは明確な答弁はありませんでした。

2月定例県議会(第359回)を終えて

2月17日に開会した2月定例議会が、3月16日に閉会しました。

本議会は、安倍政権の暴走政治と国民との間の矛盾が深化するもと、また震災から6年目を迎える中で開かれました。

党県議団は、暴走政治ストップ、「富県戦略」と「創造的復興」で被災者・県民を置き去りにする村井県政の諸問題を明らかにし、積極的に論戦しました。

1、議案の賛否について

今議会には、138の議案が提出されました。党県議団は、予算議案や蒲生干潟にかかる七北田川の河川堤防、雄勝の防潮堤2件など全部で29議案に反対をしました。

2、意見書・

請願等について

(1) 意見書について

① 指定給水装置工事事業者への更新制の導入等を求める意見書
② 無料公衆無線LAN (WiFi) 環境の整備促進を求める意見書
③ 今後の通

商交渉に関する意見書
④ 政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書
⑤ 性犯罪等被害者を支援するワンストップ支援センターの設置等を求める意見書
⑥ 高齢者も若者も安心できる年金制度の実現を求める意見書
⑦ 復旧・復興事業の総仕上げのための人材確保を求める意見と見書の、7本の意見書が本会議に提案され、全会一致で可決されました。党県議団は、③と⑦を提案しました。

(2) 請願について

「被災者に医療・介護の負担免除継続を求める請願」が本会議にかかり、わが党県議団とみやぎ県民の声が賛成討論をしました。この請願には、わが党議員団とみやぎ県民の声、社民党県議団、無所属の会の22名が賛成しましたが、自民・公明などの反対多数で不採択となりました。

(3) その他

閉会日に「北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議案」を全会一致で採択しました。

所属する常任委員会・特別委員会



大内 真理
(宮城野区)
・保健福祉委員会
・地域防災調査特別委員会



角野 達也
(太白区)
・文教警察委員会
・地域活力調査特別委員会



内藤 隆司
(大崎市区)
・建設企業委員会
・地域防災調査特別委員会



中嶋 廉
(泉区)
・環境生活農林水産委員会
・大震災復興調査特別委員会



福島かずえ
(若林区)
・経済商工観光委員会
・大震災復興調査特別委員会



天下みゆき
(塩釜市区)
・保健福祉委員会
・いじめ・不登校等調査特別委員会



三浦 一敏
(石巻・牡鹿区)
・建設企業委員会
・総合観光戦略調査特別委員会



遠藤いく子
(青葉区)
・総務企画委員会
・地域活力調査特別委員会